

6月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和2年6月末現在〕

令和2年7月13日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、すべてで改善した。

業種別に見ると、製造業では、「景況」は変化がなかったが、「売上高」「収益状況」は改善した。非製造業では、「景況」「売上高」「収益状況」は、全てで回復した。

5月末の緊急事態宣言解除や特別定額給付金の給付により小売業等で消費拡大がみられたことから非製造業の売上高の指標が大幅に改善し、全体の数値を押し上げた。

景況DI

製造業は、前月比で変化なしの-80.8ポイント、非製造業は、前月比20.8ポイント改善の-41.7ポイント、全体では、前月比10.0ポイント改善の-62.0ポイントになった。

売上高DI

製造業は、前月比3.9ポイント改善の-84.6ポイント、非製造業は、前月比45.8ポイント改善の-16.7ポイント、全体では、前月比24.0ポイント改善の-52.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比3.8ポイント改善の-80.8ポイント、非製造業は、前月比25.0ポイント改善の-37.5ポイント、全体では、前月比14.0ポイント改善の-60.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
食料品	パン	6月の1週目以降に学校給食が再開されたので、設備操業度は改善したが、現在納品されたものの支払いは1ヶ月以上先のため、7・8月が持ちこたえられるかが正念場である。
	味噌	
	酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県5月の課税課税移出数量は、新型コロナウイルスの影響を大きく受け、清酒全体で前年同月比63.5%であった。本格焼酎についてはさらに落ち、同43%の大幅減少となった。清酒については飲食店の7時以降の酒の提供自粛の影響を受け、全体量の45%を占める一般酒が同54.9%と大きく落ち込んだ。6月は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の解除により多少売上は増加すると思われる。清酒の輸出については、新型コロナウイルスのパンデミックによる落ち込みが大きく、5月の輸出数量（全国ベース）は前年同月比48.9%と50%を割る大幅減少となっている。輸出の回復には時間がかかる見通し。 ○県内当業界について 新型コロナウイルスの感染拡大により現在も大規模な宴会・イベントの自粛、消費者の外飲みの自粛が続いており、最近では第2波の懸念が現実味を帯びてきている。この状態が長引くと、財務弱体な酒蔵においては事業継続に懸念が出てくる可能性が大きい。
	納豆	一般消費者向けの納豆の売上については今まで好調であったが6月は少し悪化してきた。土産品の売上は少しずつ改善してきており、前年同月比約50%となった。
	菓子	緊急事態宣言が解除されても県を越える移動は元に戻らない。イベントや祭りの開催等に制限があるなかで人の移動は鈍い。したがって、店舗での売上も減少している。
	漬物	今まで好調だったスーパー関係の売上も落ち着いてきている。今後消費は益々落ち込み、デフレに進むだろう。
繊維工業	織物	ここ半年、展示販売会等のイベントが中止されていたので、今後の発注状況等を心配している。
	袋物	新型コロナウイルスの影響がまだまだ大きく、例年の動きの半分程度の動きとなっている。今後の展開が懸念される。
	衣服	新型コロナウイルスの影響により休業している組合員が増加している。
木材・木製品	製材	・製材の販売量は大きく落ち込んでいる。 ・国内生産の針葉樹合板は、各メーカーとも減産している。 ・外材も新型コロナウイルスの影響が続いている。 ・原木については価格が暴落している。
	県北地区プレカット	5月よりは加工数量は増加したが、前年同月比では未だ減少。7月はある程度加工の予定が入っている。
	県央地区プレカット	工場生産ラインは、前年同月比30%減少とまだまだ厳しい状況が続いている。5月より見積件数は増加しているが、秋以降に動き出す物件が多そうだ。
紙・紙加工品	段ボール	6月も廃業やM&Aの話聞く機会が多かった。親しい会社の廃業やM&Aの話聞き残念に思う。大手企業は食品関係の顧客を多く抱えているためそれほど落ち込みは見られなくなってきたが、我々中小企業は重工業関係の顧客が多く売上が10～30%減少ならまだいい方である。
印刷	総合	新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大は沈静化傾向にあるものの、依然として首都圏での感染が連日報道されている。第2波の発生に戦々恐々としているなかでは、経済活動の本格化への道は程遠い状況にあり、この経済活動に連動している印刷業界では受注減少、収益悪化が続いている。
化学・ゴム	自動車部品	先行きが不透明である。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製 造 業	窯業・土石製品	県央地区石材	
		県西地区石材	新型コロナウイルスの影響により厳しい経営状況が続いている。
		コンクリート製品	
		焼物	新型コロナウイルスの一時の状況から好転したように見えたが、ここにきて東京を含む隣接県等の感染者が増加している。経済を止めないで感染防止をするのがいいと思うが果たして可能かどうか。組合のイベント開催に向けて準備はしていきたいと考えているが。
		生コンクリート	
	鉄鋼・金属	鍍金	<ul style="list-style-type: none"> ・売上は先月より若干持ち直したが、前年より20~30%程度減少。地域によっては金曜日を休業とする組合員も出てきている。業界の景況は前月に続いて悪化。 ・燃料価格は下落。 ・貴金属は高値で推移。亜鉛・ニッケル金属等は値下がり傾向にある。 ・薬品等については大きな変動はない。
	一般機器	精密機器	
		工業団地	対象7組合員(製造会社)の売上状況は、前年同月と比較してすべて減少となった。全体増減率は前年同月比88%であった。前月より受注状況は改善したが、依然として売上は前年を割り込み、低調に推移。なかには、売上が前年同月比40%まで減少している組合員もいる。新型コロナウイルスの第2波到来も言われているなか、暫定的な受注回復に期待するしかない。
	電気機器	重電	
輸送機器	自動車部品	生産高は前年同月比7割程度。雇用人員は現状維持のため苦しい経営状態にある。	
	輸送車両		
その他の製造業			
非 製 造 業	卸売業	水産卸	精算所取扱高は、前年同月比8.41%増加。新型コロナウイルスの影響があるなか、量販店等が好調を維持している。仲卸業者、小売業者は厳しい状況が続いているなか、少しずつ回復の兆しが見えたため全体の取扱高は前年を上回った。7月21日の土用の丑の日を前に、ウナギの価格が前年同月比3割程度下がっており期待している。
		県南地区卸	学校、幼稚園、保育園等の給食が始まり、食品関係の売上が増加するも、新型コロナウイルスの影響により総じて売上が減少している。
		食品卸	野菜・果実合計で前年同月比117%の取扱高となった。野菜に関しては、根菜等を中心として成長が鈍く数量も伸びなかったため、絶対量不足から相場の上昇が続いた。
		セメント卸	袋セメントの出荷袋数は前年同月比約10%増加。5月、6月と前年を上回る実績で、現状新型コロナウイルスの影響は見られない。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
非 製 造 業	小売業	
	県北地区共同店舗	売上は前年同月比111.1%、客数は同100.6%となり、飲食店以外は好調で各店軒並み前年同月の売上以上を確保。継続していきたい。
	県央地区共同店舗	前年同月比で売上は、全体95%、食品102%、飲食が86%で、衣料品は退店の影響もあり90%と苦戦した。6月に入り、全体的に売上を戻しつつあるが、前年同月比50～60%台のテナントもあり、大変厳しい状態が続いている。
	県南地区共同店舗	6月も変わらず、売上・客数ともに改善はみられなかった。特に、サービス部門のアミューズ、ゲーム、フィットネス、理容が厳しく、売上・客数の改善はみられなかった。前年同月比で売上は、全体77.5%、衣料72.8%、文化品81.6%、食品92.3%、飲食89.6%、サービス63.3%であった。
	クレジット	
	家電	特別定額給付金や外出自粛により、冷蔵庫、エアコン、洗濯機、テレビ、温水洗浄便座に消費拡大がみられ、一部組合員の前記5商品の売上は前年同月比121%となった。日頃の活動も重なり、久しぶりに販路拡大があった。取り巻く環境は厳しいが、早く日常に戻るよう期待したい。
	石油	コロナ禍による石油燃料の消費については回復しつつあるものの、観光バスや旅行客等の消費についてはまだ回復してきていない状況。5月から6月にかけても原油価格は上昇したが、売上減少を恐れて販売価格を上げられず、依然として厳しい状況が続いている。また、対面販売も顧客が嫌がるので燃料油以外の収益を上げるのも難しい状況。
	農機具	
	中古自動車	販売台数は前年同月比69.2%、販売価格は横ばいで同100.4%、売上高は販売台数の減少により同70.7%と大きく減少した。また、新車・中古車の販売低迷で下取車が激変していることを受け、流通車不足と仕入価格の高騰が深刻化している。
	飲食品	6月と同様に食品小売業の当組合員は好調に推移。7月よりレジ袋が完全有料化になったが、今のところ大きな問題は出ていない。茨城では新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきているが、これからの第2波に向けて警戒していかなければならない。
商店街	水戸	
	筑西	新型コロナウイルスの影響により全てが悪化している。この先の見通しも全くつかない状況である。
サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数（持込検査）は、前年同月比で普通車が104.7%、軽自動車が108.9%となり、普通車・軽自動車ともに増加となった。
	ホテル・旅館	緊急事態宣言の解除に伴い営業を再開した組合員もいれば、6月末まで休業を続けた組合員もあり、施設を稼働している組合員は約8割程度に留まっている。県西・県南の工場誘致エリアでは稼働率が戻りつつあるもののビジネス系に限られ、観光系の旅館・ホテルは苦戦を強いられている。
建設業	総合	公共工事の入札が増えてきた。組合員各社手持ち工事不足のため、最低線価格競争が激しい。ただし年間を通しての受注バランスを考慮しての入札も増えてきているので一部に適正価格での落札も期待できるようになってきた。学校関係の建築工事の発注が今年も遅れている、また今年は夏休み中に学校の授業が行われるので工事と授業が重複することが予想される。学校側との工程調整が大変になる。
	電気工事	
	管工事	
	交通安全施設	
	型枠工事	新型コロナウイルスの緊急事態宣言も解除され、建設現場は落ち着きを取り戻しつつある。ただし、完全に終息したわけではないので「三密」の回避や影響緩和のための対策を徹底していかなければならない。これから熱中症に気をつけなければならない時期を迎えるが、マスクを着けての作業時はこまめな休憩と水分や塩分の補給をしなければならない。このような事態で工程の遅れが生じるのは明らかなので、あらかじめ発注者との協議が必要だと思う。

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
令和2年6月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
非 製 造 業	運輸業	<p>貨物軽自動車運送</p> <p>当月の組合員数は114名、車輛台数は144台で前月と比較して1名減少、1台減少となった。また、全国連合会での当月の組合員数は7,718名、車輛台数は9,157台で前月と比較して30名減少、33台減少であった。</p>
	県北地区一般貨物	引き続き主要顧客の出荷物量は減少したまま、売上高は約2割程度減少している。燃料価格も5月に比べ徐々に上昇しており、収益は厳しい状態が継続している。
その他の非製造業		

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	パン	学校給食を担う業者に対する待遇改善。
	酒	全ての酒類業者が新型コロナウイルスにより重大な経済的被害を受けており、今後の経営継続に懸念が生じている。行政としての消費へのカンフル剤等の支援を強化していただきたい。
	納豆	中小企業にとって、今後の最低賃金引き上げについて3%上昇は到底無理だと思うので、無しにしてほしいです。新型コロナウイルスにより企業は悪化しております。
	菓子	新型コロナウイルスの特効薬ができない限り見通しは明るくない。
小売業	石油	<ul style="list-style-type: none"> 揮発油税に消費税を課税している二重課税の廃止。 新型コロナウイルス感染症による経営環境悪化に対する補償。 国はSSに対して営業の継続を要請してきたが、SSの収益は3~4割減少の方も多く、国の持続化給付金の対象外となるため申請出来ない、又、県の補助制度も活用できないため。
	筑西	政府は自粛しろ、休業して、雇用守れと言いますが、どうやって雇用を守ればいいのか分かりません。3月に申請した雇用調整助成金すら未だに進展の無い現状です。今回のコロナウイルスで、国・政府・国会議員の対応に疑問を感じました。
建設業	総合	技術者不足の中、少額工事に技術者を配置できない状況が起きている。特に100万円以下の工事に有資格者を配置することが難しい状況。対策を講じていただきたい。
	型枠工事	上記の事態を改善するための対策やご指導をお願い致します。

月次景況調査 6月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	6月	5月	前月比	6月	5月	前月比	6月	5月	前月比
景 況	▲ 62.0	▲ 72.0	10.0	▲ 80.8	▲ 80.8	0.0	▲ 41.7	▲ 62.5	20.8
売 上 高	▲ 52.0	▲ 76.0	24.0	▲ 84.6	▲ 88.5	3.9	▲ 16.7	▲ 62.5	45.8
収 益 状 況	▲ 60.0	▲ 74.0	14.0	▲ 80.8	▲ 84.6	3.8	▲ 37.5	▲ 62.5	25.0
販 売 価 格	▲ 8.0	▲ 12.0	4.0	▲ 7.7	▲ 7.7	0.0	▲ 8.3	▲ 16.7	8.4
取 引 条 件	▲ 24.0	▲ 32.0	8.0	▲ 23.1	▲ 34.6	11.5	▲ 25.0	▲ 29.2	4.2

中小企業月次景況調査(令和2年6月)DI値(前年同月比)

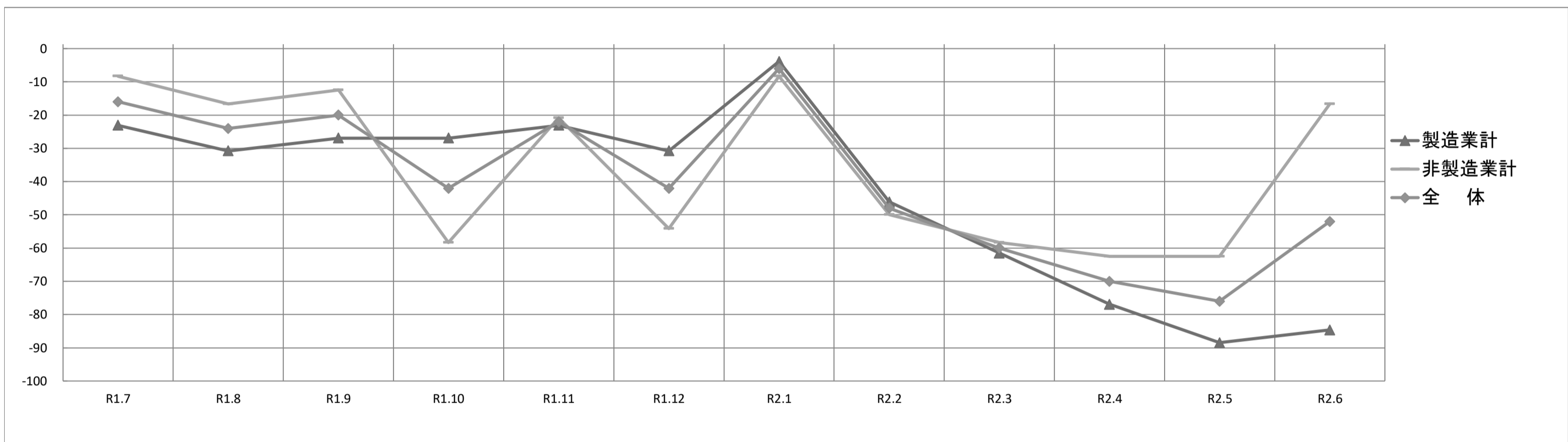
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)														
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数							
製造業	食料品	△ 66.7	1	0	5	6	33.3	2	4	0	6	0.0	0	6	0	6	0.0	0	6	0	6	△ 83.3	0	1	5	6	△ 83.3	0	1	5	6	△ 16.7	1	3	2	6	△ 33.3	0	4	2	6	△ 83.3	0	1	5	6
	繊維工業	△ 100.0	0	0	3	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	0	3	3	△ 100.0	0	0	3	3	△ 100.0	0	0	3	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 100.0	0	0	3	3
	木材・木製品	△ 100.0	0	0	3	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	0.0	0	3	0	3	△ 100.0	0	0	3	3
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	印刷	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	化学・ゴム	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	窯業・土石製品	△ 60.0	0	2	3	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 60.0	0	2	3	5	△ 40.0	0	3	2	5	△ 40.0	0	3	2	5	0.0	0	5	0	5	△ 40.0	0	3	2	5
	鉄鋼・金属	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	一般機器	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2
	電気機器	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	輸送機器	△ 100.0	0	0	2	2	0.0	1	0	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2
製造業計	△ 84.6	1	2	23	26	△ 11.5	3	17	6	26	△ 7.7	1	22	3	26	△ 23.1	0	20	6	26	△ 80.8	0	5	21	26	△ 69.2	0	8	18	26	△ 50.0	1	11	14	26	△ 26.9	0	19	7	26	△ 80.8	0	5	21	26	
非製造業	卸売業	50.0	3	0	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	25.0	1	3	0	4	0.0	0	4	0	4	25.0	1	3	0	4	25.0	1	3	0	4					0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	
	小売業 (商店街含む)	△ 27.3	4	0	7	11	△ 45.5	1	4	6	11	△ 18.2	1	7	3	11	△ 45.5	0	6	5	11	△ 63.6	1	2	8	11	△ 72.7	0	3	8	11					△ 27.3	0	8	3	11	△ 72.7	0	3	8	11	
	サービス業	△ 50.0	0	1	1	2					△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2					0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2		
	建設業	0.0	1	3	1	5					0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5					0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5		
	運輸業	△ 100.0	0	0	2	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2					0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2		
	非製造業計	△ 16.7	8	4	12	24	△ 40.0	1	7	7	15	△ 8.3	2	18	4	24	△ 25.0	0	18	6	24	△ 37.5	2	11	11	24	△ 37.5	1	13	10	24					△ 12.5	0	21	3	24	△ 41.7	1	12	11	24	
全体	△ 52.0	9	6	35	50	△ 22.0	4	24	13	41	△ 8.0	3	40	7	50	△ 24.0	0	38	12	50	△ 60.0	2	16	32	50	△ 54.0	1	21	28	50	△ 50.0	1	11	14	26	△ 20.0	0	40	10	50	△ 62.0	1	17	32	50	

D I 値推移表 (R1.7月 ~ R2.6月期)

《売上高の推移》

前年同月比	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6
食料品製造業	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	5.0	▲ 45.0	▲ 60.0	▲ 80.0	▲ 90.0	▲ 90.0
製造業計	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 3.8	▲ 46.2	▲ 61.5	▲ 76.9	▲ 88.5	▲ 84.6
卸売業	25.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 25.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	25.0	50.0
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 63.6	▲ 27.3	▲ 36.4	0.0	▲ 72.7	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 27.3
サービス業	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0
建設業	0.0	40.0	0.0	▲ 20.0	20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 100.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 100.0	0.0	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 58.3	▲ 20.8	▲ 54.2	▲ 8.3	▲ 50.0	▲ 58.3	▲ 62.5	▲ 62.5	▲ 16.7
全体	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 42.0	▲ 22.0	▲ 42.0	▲ 6.0	▲ 48.0	▲ 60.0	▲ 70.0	▲ 76.0	▲ 52.0

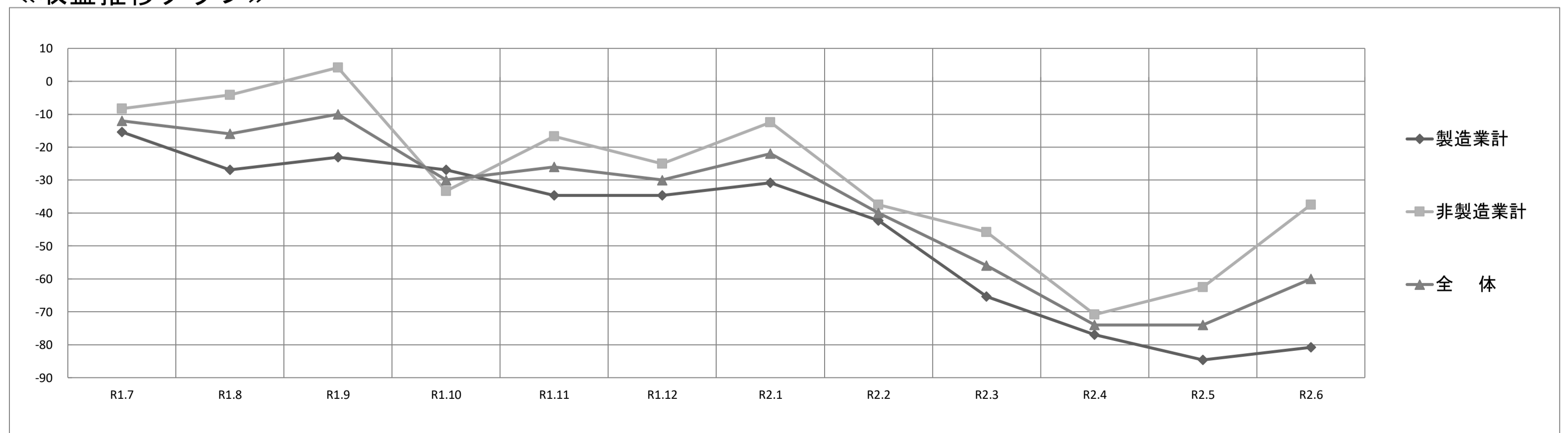
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 50.0	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 65.0	▲ 80.0	▲ 90.0	▲ 80.0
製造業計	▲ 15.4	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 42.3	▲ 65.4	▲ 76.9	▲ 84.6	▲ 80.8
卸売業	25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 75.0	0.0	25.0
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 45.5	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 81.8	▲ 63.6
サービス業	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	▲ 40.0	▲ 40.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 8.3	▲ 4.2	4.2	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 45.8	▲ 70.8	▲ 62.5	▲ 37.5
全体	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 10.0	▲ 30.0	▲ 26.0	▲ 30.0	▲ 22.0	▲ 40.0	▲ 56.0	▲ 74.0	▲ 74.0	▲ 60.0

《収益推移グラフ》

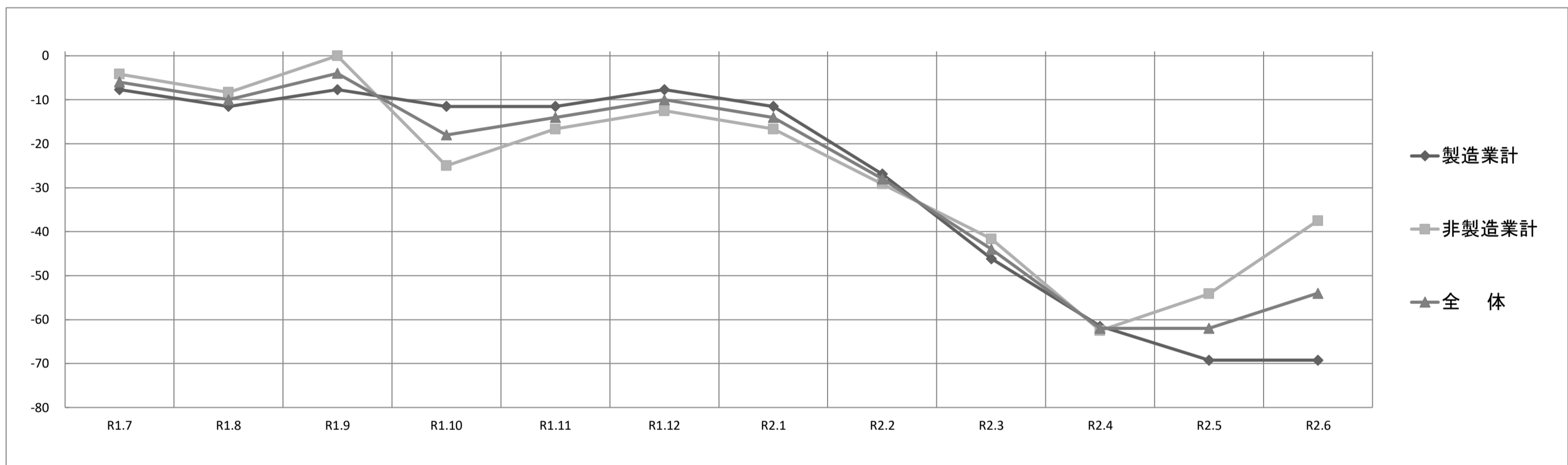


D I 値推移表 (R1.7月 ~ R2.6月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 83.3	▲ 83.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 40.0	▲ 55.0	▲ 65.0	▲ 65.0
製造業計	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 26.9	▲ 46.2	▲ 61.5	▲ 69.2	▲ 69.2
卸売業	25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 75.0	▲ 25.0	25.0
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 63.6	▲ 90.9	▲ 81.8	▲ 72.7
サービス業	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 4.2	▲ 8.3	0.0	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 62.5	▲ 54.2	▲ 37.5
全体	▲ 6.0	▲ 10.0	▲ 4.0	▲ 18.0	▲ 14.0	▲ 10.0	▲ 14.0	▲ 28.0	▲ 44.0	▲ 62.0	▲ 62.0	▲ 54.0

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 15.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 50.0	▲ 55.0	▲ 85.0	▲ 85.0	▲ 80.0
製造業計	▲ 15.4	▲ 30.8	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 50.0	▲ 57.7	▲ 80.8	▲ 80.8	▲ 80.8
卸売業	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 25.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 20.0	▲ 72.7	▲ 90.9	▲ 81.8	▲ 81.8	▲ 72.7
サービス業	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0
建設業	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	20.0
運輸業	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 62.5	▲ 41.7
全体	▲ 16.0	▲ 20.0	▲ 18.0	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 30.0	▲ 28.0	▲ 50.0	▲ 66.0	▲ 78.0	▲ 72.0	▲ 62.0

《景況推移グラフ》

